

きょうの天気



降水確率 気温

朝 10% 高 29℃
 昼 10% 低 19℃
 晩 10%

(横浜予想)
 北の風後南の風

あす

県東
 県央
 県西

川崎支局 〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-1-14
 JTB川崎共同ビル5階 電話:044-222-1011
 FAX:044-245-9514 Eメール:kawasaki@tokyo-np.co.jp

横浜支局 〒231-0007
 横浜市中区弁天通4-52 ナインティー横浜ビル4階 046-822-0126
 電話:045-201-1151 FAX:045-201-1046

横須賀支局

麻生 044-966
 中原 044-733
 鎌倉 0467-45
 藤沢 0466-28
 小田原 0465-32
 相模原 042-752
 厚木 046-222

今こそ「アンネの日記」



アンネ役の八木橋里紗さん＝麻生区で

本破損事件受け劇団民芸

二月に東京都内の図書館で、「アンネの日記」や関連本が破られる事件があった。民芸が今夏の演目を何にするのか検討していた時点で、「長年取り組んできた作品。今こそやらなければ」（制作部）と上演を決めた。

「このタイミングで演じられるのはうれしい」と八木橋さん。中学時代、課題図書で「アンネの日記」などユタヤ人迫害の関連本を読んできた。二月の事件後、「本を破ることは良くない」とだけ認識している同世代の声に驚いた。戦後

川崎市麻生区に拠点を置く劇団民芸が、一九五六年の初演以来千七百ステージを超える代表作「アンネの日記」を七月に上演する。区内の稽古場を会場にした特別公演。アンネ

来月上演

を演じる同市多摩区の八木橋里紗さん（二七）は「アンネが日記をつづった屋根裏に一緒に隠れるような気持ちで見ただけならば」と願う。

（上條憲也）

「普通の女の子演じたい」

八木橋さんは二〇一一年四月、十七代目アンネ役オーディションに合格し、民芸に入った。一九七九〜八〇年に八代目アンネを演じた元民芸劇団員の成田美佐子さんの娘だ。

本格的に演劇を始めたのは高校卒業後だった。作品を通して戦争のことを「しっかり考えなさい」と教えてくれた母親は、八木橋さんがオーディションを受け



舞台の一場面。左から2人目が八木橋さん（劇団民芸提供）

る前の一〇年六月、白血病のため五十歳で亡くなった。

八木橋さんは入団以来、旅公演などこれまで二十三ステージでアンネを演じた。演出は〇一年から担当する戦後生まれの丹野郁弓さん。少女の成長物語として描かれているという。

八木橋さんは「外で遊びたい、勉強したい、学校に行きたい、友達に会いたいといった普通の女の子が当たり前に思ふことや少女のキラキラした感じを大切に、再びアンネを演じます」と誓った。

公演は七月十二〜二十一日、各日午後一時半開演。十五、十九の両日は午後六時半の回もある。各回八十席。一般四千元、学生二千元。問い合わせは劇団民芸へ。電（987）7711